

ごあいさつ

皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年日本経済は新興国の経済減速の影響がみられたものの堅調な企業業績を反映して、雇用、所得環境の改善が進み、外国人観光客の消費も景気を下支えして景気は緩やかな回復基調で推移しました。それとともにリニア新幹線の着工や MRJ 初飛行など明るい話題も多くみられ、今後の日本経済の活性化につながるものと期待しております。

当クラブにおきましては、昨年は9月の集中豪雨による影響で残念ながらクラブ選手権は中止になりましたが、10月には日本ゴルフ事業協会前理事長安倍晋三自由民主党総裁、超党派ゴルフ連盟会長麻生太郎副総裁、同最高顧問衛藤征士郎衆議院議員をはじめとする多数の方々より御祝電並びに祝花をいただき開場40周年記念コンペを多くの皆様方と祝うことができましたことを大変喜ばしく思っております。

又、今年はブラジル、リオデジャネイロでオリンピックが開催され、日本は過去最多となる41個のメダルを獲得しました。本大会ではゴルフが112年ぶりに正式競技として採用され、日本選手団も大健闘をしてくれましたが惜しくもメダルには届きませんでした。しかし、次の東京オリンピックでは日本選手団の活躍が歴史の新たな1ページを作成し、ゴルフへの注目度を高めて、ジュニア世代をはじめとするゴルフ人口の裾野を広げてもらえますことを心より願ってやみません。

シニア人口の方々には3000万人を突破しましたが、ゴルフというスポーツは唯一と言ってよいほど年齢、性別にかかわらず家族、友人、仕事関係全ての方々と共に楽しめるスポーツであります。このような事を踏まえまして私どももシニア、レディスゴルファーにも優しいゴルフ場造りとともにいろいろな世代が集い、楽しみ、プレーができるクラブ造りを目指していきたく思いますので、皆様方におかれましては、是非お誘い合わせの上、ご来場いただけますようお願い申し上げますとともに、私も南摩城カントリークラブをより一層発展させるべく、さらに努力を重ねていく所存でございますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

南摩城カントリークラブ
理事長 岡地 晃嗣